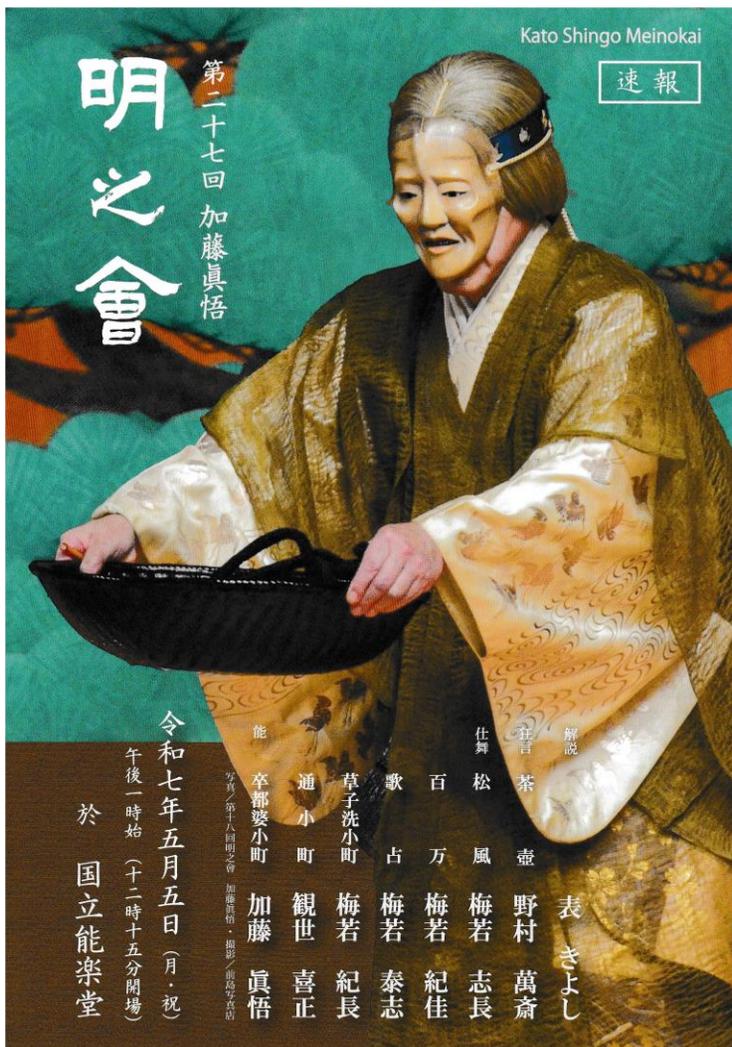


# 能を楽しま

講師 加藤真悟 先生

能楽師 観世流シテ方 梅若研能会所属  
重要無形文化財保持者（総合認定）



能楽師自ら講師として能の基礎知識や演目の見所など、画像を見ながらわかりやすく解説。毎回演目が変わるのでどなたでも楽しめます。能楽鑑賞二回分チケットつき。大変おすすすめです。

講義：4月22日・5月20日・6月17日・7月8日 全て(火)

会場：南センター 13時～14時30分

鑑賞会：5月5日（月・祝）13時～

能 「卒都婆小町」  
狂言 「茶壺」

鑑賞会は現地集合・現地解散

国立能楽堂

最寄り駅：「千駄ヶ谷駅」「国立競技場駅」「北参道駅」

7月21日（月・祝）14時～

横濱能の会 演目：「羽衣」  
謡・小鼓・大鼓のワークショップ

県民共済みらいホール

最寄り駅：「桜木町駅」「みなとみらい駅」

【対象・定員】成人・先着20人

【費用】8,700円

（2回の鑑賞代金含む）

【申込】3月11日（火）9時～

直接南センターへ

電話申し込みは同日14時～



加藤 真悟 (かとうしんご) 先生

昭和三十三年生。故二世梅若万三郎及び三世梅若万三郎に師事。観世流準職分。日本能楽会会員（重要無形文化財総合認定保持者）。昭和六十二年能楽養成会教授。平成二十五年新作能「将門」（梅若万三郎監修、小林保治作）、復曲能「三十一」



前回演目 復曲能「伏木曾我」より

三十一「虎送」、令和三年「和田酒盛」、令和四年「伏木曾我」、新作能「新皇将門」（共に梅若万三郎監修）の制作に携わり初演のシテを勤める。平成十一年より毎年自主公演「明之會」を開催する。「真諦会」を主宰して愛好者に謡仕舞の指導をしている。主な抜曲「木賊」「驚」「卒都婆小町」「三輪白式神楽」「恋重荷」「望月」「安宅」「碓」「求塚」「道成寺」「赤頭」「石橋」「乱」等。（公財）梅若研能会理事、（一社）復曲能を観る会代表理事。（公社）能楽協会東京支部著作権関連委員。

南センター

045-741-8812

南区南太田2-32-1

